

### 令和3年度出土文化財企画展の開催について

- 1 概要 飛鳥時代の神社遺跡が明らかとなった『西本6号遺跡』や、「天平勝宝2年」銘の木簡により国分寺創建時期やそこで行われた儀式の一旦が明らかとなった『安芸国分寺』をはじめとして、全国的にも注目される発見が相次いでいる市内の古代遺跡について一同に展覧することで、東広島市の歴史の一旦を理解し、出土文化財の魅力と価値について再認識の一助としようとするもの。
- 2 表題 令和3年度出土文化財企画展「古代の東広島」
- 3 会場・日時 第1期 令和4年1月8日（土）～2月3日（木）  
会場：東広島市出土文化財管理センター・展示室  
第2期 令和4年2月9日（水）～2月14日（月）  
会場：東広島芸術文化ホールくらら・市民ギャラリー
- 4 主な展示
  - ① 飛鳥時代の神殿『西本6号遺跡』 出土品
  - ② 奈良時代の官寺『安芸国分寺』 出土品
  - ③ 古代の集落 出土品  
(高屋うめの辺1号遺跡・青谷1号遺跡・聲門遺跡・安芸国分寺周辺遺跡・吉光谷遺跡)
  - ④ 安芸の須恵器窯 出土品
- 5 その他 期間内の令和4年2月11日（金・祝）に、東広島芸術文化ホールくらら・サロンホールで出土文化財報告会を開催予定



安芸国分寺跡出土品



西本6号遺跡出土品